

令和7年度 3月号

# めいいか

令和8年2月27日  
文京区立明化幼稚園



## 令和7年度修めの月

園長 西郡 千晴

梅の花から桃や杏の開花が楽しみになる季節を迎え、令和7年度を修める月となりました。

子どもたちは一つずつ次のステップに向かいます。心も体も大きくなり、「幼稚園が楽しい」と毎日の登園を楽しみにしてくれる姿は、教職員一同の元気の源になっています。年長組は、幼稚園生活の残りの日々を、先生や友達と一緒に過ごす楽しさを十分に味わいながら、大切に過ごしています。当番活動を引き継ぎ、年長さんとお別れ会を進める年中組は、自信に満ち溢れる姿がたくさん見られています。年少組が、次に入園する小さな友達と一緒に遊ぶ姿は、どの子も優しいかかわりで微笑ましいものでした。こうして一つずつ大きく成長した姿を見ると、幼稚園で過ごしたどの時間も豊かな育ちにつながってきたのだと実感することができます。

今年度も改築工事の只中ではありましたが、子どもたちも教職員も園舎の使い方に慣れ、室内や廊下、テラスや玄関前のスロープなど様々な場所を活用してたくさん遊び、生活を進めることができました。また、基礎体力の向上を目指して回数を増やした散歩では、園との往復路で近隣の方から声をかけていただいたり、にこやかに見守っていただいたりする機会がたくさんありました。子どもたちから挨拶をすることで生まれる小さなかかわりは、近隣の方への親しみ感につながっていると思います。そして、散歩先のバリエーションも増えました。千石公園、ラクダ公園、宮下公園、六義公園、大塚窪町公園など文京区内の公園はいずれも整備されており、幼児が安心して思い切り遊ぶことができました。その後に親子でも遊びに行く機会ができた嬉し声も聞かれました。このように区内の公共施設を有効活用することができたことも、今年度の成果の一つに挙げられると思います。

この一年間、保護者の皆様、地域の皆様の温かいご理解とご協力があったからこそ、子どもたちは安心して園生活を送り、健やかに成長することができました。心より感謝申し上げます。

おひな様を作りました。世界に一つだけの特別なひな人形。表情豊かで見ているだけでも心が和みます。



年少いちご組



年中つばめ・いるか組



年長そら・うみ組